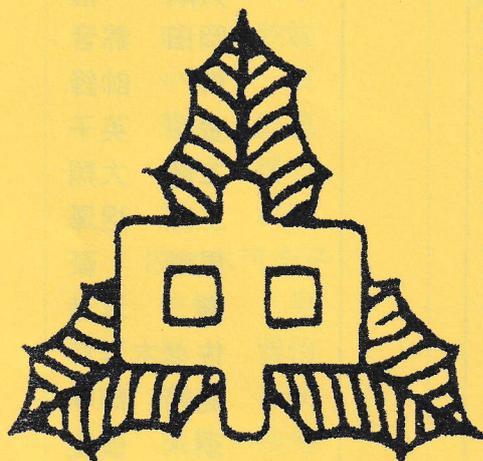


第70回 卒業証書授与式



令和8年3月13日(金)

川口市立幸並中学校

式次第

一同礼

- 一、開式の辞
- 一、国歌斉唱
- 一、市民歌斉唱
- 一、卒業証書授与
- 一、学校長式辞
- 一、教育委員会告辞
- 一、来賓祝辞
- 一、来賓紹介・祝電披露
- 一、卒業記念品贈呈
- 一、在校生送辞
- 一、卒業生答辞
- 一、卒業生合唱
- 一、保護者代表謝辞
並びに卒業記念品贈呈
- 一、式歌斉唱
- 一、校歌斉唱
- 一、閉式の辞

一同礼

君が代

君が代は

千代に八千代に

さざれ石の

巖となりて

苔のむすまで



川口市民歌

一 朝にひぐれに 幼きあの日

キューボラかぞえて 君と僕

機械の響きに はずんだ胸の

リズムはいまでも 生きている

君よこの日も 語りたまえ

たのしく未来を たのしく未来を

あふれる あふれる 幸せを……

校歌

一 仰げ秩父嶺 むらさきに

幸福ねがう シンボルは

緑かがやく ヒイラギの

その名も高き 幸並校

二 ゆけ洋々の 荒川に

たかき姿を 映しつつ

五色かがやく 学舎は

その名もわれらが 幸並校

三 とれあたたかき 友の手を

ヒイラギの旗の ゆくところ

理想の光よ 世をてらせ

その名もかがやく 幸並校

仰げば尊し

一 仰げば尊し わが師の恩

教への庭にも はや幾年

思えば いと疾し この年月

今こそ別れめ いざさらば

二

互いに睡みし 日ごろの恩

別るる後にも やよ 忘るな

身を立て 名をあげ やよ励めよ

今こそ別れめ いざさらば

三

朝夕 馴れにし 学びの窓

堂の灯火 積む白雪

忘るる 間ぞなき ゆく年月

今こそ別れめ いざさらば

旅立ちの日に……

桜舞う四月の教室で 波打つ胸をはずませながら

出会った永遠の仲間達 あどけない手交わしたね

あの日かけまわった校庭 笑顔によく映えた光る汗

時に素直になるの嫌って ぶつかり合ってケンカもしたね

放課後行った常連の店 いつもの駄菓子屋 忘れてないよ

指切りをして 交わした約束 みんなきらめく陽だまりの粒

いつのまにか 時は流れ もう今日は卒業の日

人はいつか旅立つ者 だけど

いつの日にか またどこかで 会える気がするからね

輝く日々を忘れないで

もう開けない教室のドア 向かい合えない机もいすも

週末にはよく遊んだね 時には夢中な恋も知って

絶えぬおしゃべり 怒られた朝 泣いたあの日も 覚えているよ

あなたがくれた 冷めぬこの熱は 私の胸で息づいている

今始まる 希望の道 今日までありがとうね

思いつきの校舎と別れを告げ

今新たな 扉開き はるかな年月経て

つばみから花 咲かせよう

耳元で聞こえる別れの歌を あふれ出す涙こらえて

旅立ちを決めた仲間たちには はかない調べが降り積もる